

事業報告書

1 支援団体名	噂の土木応援チームデミーとマツ
2 事業名称	土木体験イベント『立野ダムをつくろう!』
3 実施日時	令和元年 11 月 2 日(土)10:00~16:00
4 実施場所	立野ダム工事ヤード及び関連施設(熊本県)
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 土木体験イベントをととして九州地方整備局が熊本県に建設している立野ダムの必要性ならびに土木の魅力を伝えることを目的としている。 イベントは立野ダム工事事務所、立野ダム建設 JV、熊本県建設業協会青年部と共同で実施した。イベントは子供とその保護者合計 59 名が参加した。イベントは講義・見学・体験を行い、講義は①立野ダム工事と防災、②立野ダム工事現場の地質、③土木の魅力について行った。見学・体験は、①1/100 サイズのミニ立野ダムの製作(型枠・生コン打設、脱型)、②立野ダム工事現場探検(リムトンネル、現場ヤードなど)、③立野ダムの工事で利用されている大型重機の試乗体験、④自然再生のためのどんぐりの苗の植え付け体験、⑤立野ダムカレーを作り体験、⑥写真撮影会を行った。協議を行い、当初の計画より体験内容を充実させた。
	(事業実施効果) イベントの感想では「楽しかった。また行きたい」、「イベントを通して土木やダムのこと知ることができました。知らないことが知れてよかった」、「初めて見たり、体験することばかりでとても楽しかった」、「エレベーターで地下 70m 下にいった洞窟(リムトンネル)に入ってセメントミルク(グラウト)の話をしてくれて勉強になった」など参加者全員から満足の声を頂いた。また、西日本建設新聞、九建日報、日刊建設工業新聞、日刊建設工業新聞ブログ(ウェブ)においてイベントの記事が掲載された。日刊建設工業新聞ブログの記事は土木学会の Facebook で紹介していただいた。以上から立野ダムならびに土木の認知度向上やイメージアップに貢献できたと考える。
6 参加内訳	総人数 95 名
	(1) 主催者参加 36 名
	(2) 日本人参加((1)を除く) 59 名
	(3) 外国人参加((1)を除く) 0 名
7 今後の方針	継続的にイベントを実施することで立野ダムの必要性ならびに土木の魅力を伝えることができる。そのため、今後は立野ダム工事事務所と連携しながら工事の進捗状況にあわせて年に 1 回は同規模の土木体験イベントを実施する予定である。

講義の状況



ミニ立野ダム施工状況



重機試乗体験



立野工事現場見学状況



リムトンネル探検



ミニ立野ダム完成の記念撮影

